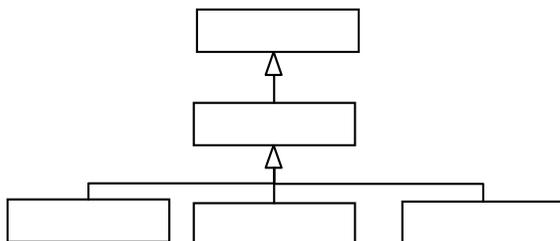


クラス図を読む際の注意

- 1、だるま（このクラス図を書いた人）は、これでも一応、UMTP L2とOCUP Fundamentalを持っていますが、間違いなんてものはいくらでもあると思ってください。
- 2、コマンドバーへボタンを追加するときに関係があるものと、クラスの代表的な属性と操作しか書いていません。例えば、Excel::Applicationにはかなりの数の属性がありますが、このクラス図にはほとんど書いていません。
- 3、メソッドの引数は、ほとんど省略しています。
- 4、[オブジェクト]ブラウザでプロパティとなっても、クラス図には操作として書いてあるものもあります。（特にActive○○というプロパティ）
- 5、可視性（+,#,~,−）はすべて省略しています。
- 6、その他いろいろ、省略しています。（書くのが面倒臭い）
- 7、本当は{readOnly}も省略しても良かったのですが、書きました。ただし、全て書いている訳ではありません。（特に関連端）
- 8、Office::CommandbarControlは、interfaceクラスなのかabstractクラスなのか、そうでないのか判りませんでした。なので、具象クラスとして書きました。
- 9、クラス図にはOffice::CommandbarControlのサブクラスが3つ書いてあります。しかし、その間に他のクラスがあるかもしれません。



↑こうかもしれない。ということ。
しかし、オブジェクトブラウザやヘルプを見ても判りませんでした。

- 10、《collection》はコレクションクラスを表します。